

Amós Bañeres

SIN プロジェクト

スペイン／カタルーニャ
アモス・バニェレス

ビギナーからベテランまで御用達のヴァンナチュール！

SIN プロジェクトはカタルーニャ地方ペネデスの土地で素晴らしいオーガニック栽培のグロワーであるアレックス・ライオスと、一切の添加物を使用しない醸造でかつテロワールをしっかりと表現した素晴らしいワインを造るアモス・バニェレスによる新しいプロジェクトです。SINは英語でwithout、ケミカルや人為的介入がないことを表しています。

アレックスはこの地で代々続く大きなカヴァの生産者で、ファミリーは膨大な土地をペネデスに持っていてカヴァを造っていました。現在も8つほど自分のブランドを別で持っています。SINプロジェクトのワイン3種類は、すべてアレックスが所有しているピオの畑で育てたブドウからできています。

アモスのファミリーもペネデスに土地を持っていて、アモスは若い頃は違う仕事をしていたのですが、やはり自分の土地に戻り自然の産物を造り出したいとの思いで、2011年から家族の持っていた古い5haの畑を引き継ぎました。今でもアモスの畑は5ha弱、別ブランドとしてワインをつくっています。SINプロジェクトの醸造家がこのアモスです。

オーガニックでかつ酸化防止剤ゼロのワインを造りたいと思っていたこの土地の大地主のアレックスと、ピオディナミで全て手作業でワインを造り始めたアモス。自分たちの土地でその共通の思いから二人が手を組み2018年からスタートさせたのがこのSINプロジェクトです。

(注：アレックスとアモスの二人は2015年からEls Vinyrons(エルス・ヴィニエロン)という別ブランドでもコンビでワインをつくっており、そちらはワインダイヤモンドさんが輸入されています。)



ブドウはアレックスの家族が所有するカヴァの広大な土地で全てオーガニック栽培をされ、醸造もアルティザンワインを造りたいと思っていたアレックス家の醸造所で行われます。

醸造はアモスによるもっと幅広いレンジのワインを造りたいと思っていたインスピレーションとアーティスト的な部分が反映されています。彼らのワインの美しい特徴は、飲み易く品種の特徴を表現しつつ、直球な味わい、ピュアなフルーツが十分に感じられる所で、ペネデスの他のワインとの違いを見せ付けています。

SINの意味はスペイン語で、“それ以外ない”“無し”と言う意味です。

化学肥料無し、品種もブレンドなしの1品種、醸造は手を加えること無し、添加物無し、酸化防止剤ゼロ。

2018年はこのプロジェクトの初ヴィンテージでありながらも、通常の2倍近い雨量に見舞われたやや難しい年でした。おかげでこのプロジェクトのより軽くて、軽快でフレッシュなワインを造りたいと思っていた彼らの目標により近づけたのかも知れません。

SINプロジェクトはよりシンプルに土地と品種の個性を表したワインだと思います。

広く清潔なセラーと広大で素晴らしい畑をもつアレックスと、ナチュラルワインの醸造のトップのアモスが手を組むことで、エントリーレベルのナチュラルワインとして素晴らしいクオリティと個性、手に取りやすい価格帯を表現しています。アレックス一人でもアモス一人でもできなかった事です。1+1=2に留まる事なく、その可能性はまだ大きくなっていきそうです。

[35212] SIN Cava Xarel-lo シンカヴァ チャレッコ19			
呼称	D.O.Cava カヴァ		
参考小売	¥2,500 ★		
規格/タイプ	750ml×12 / 白泡・辛口		
栽培/認証	ピオロジック / -		
テロワール	土壌	標高・向き	面積・収量
	粘土石灰	300m・東、西	6.2ha・32hl/ha
品種(収穫/樹齢)	チャレッコ100%(手摘み/40~60年)		
醸造	酵母	自生酵母	
	発酵	8月19日収穫/除梗後、空気圧式搾り / 50hlのステンレスタンクで発酵	
	熟成	糖が残った状態で2020年1月20日瓶詰め 3週間ルミアージュしながら瓶内発酵・熟成 ドザーージュなし / オーダーの毎にデゴルジュマン / 無濾過・無清澄	
	SO ₂	無添加 トータル:8mg/L	
ガス圧	5.3気圧		
アルコール度	11.5%		
特徴	カタルーニャ・ペネデス、アレックスとアモスのSINプロジェクトで、チャレッコをプレス後ステンレスタンクで発酵、糖が残った状態で瓶詰めしルミアージュしながら瓶内発酵・熟成しました。クリーミーな泡、濃いイエロー、グレープフルーツやレモネード、アップルミントの香り、バランスよくキリッとした味わいに溶け込んだ酸味がやさしく、まろやかで口あたり良い逸品です。		



酸化防止剤無添加の商品はお取り扱いにご注意ください (基本的に15度以下の保存をお願いします)

Diony